

アカショウビン

Halcyon coromanda (Latham)

ブッポウソウ目カワセミ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

山地のよく発達した森林を代表する種類。個体数も少ない。

形態

全長約27cm。雌雄同色で全身赤みを帯びた褐色。下面はやや淡く、黄色みを帯びている。嘴は赤く、大きくて長い。

国内分布

夏鳥として渡来し、全国のよく発達した森林や溪流に生息する。北日本では平地林にも生息する。

県内分布

夏鳥として渡来し、県下全域の山地帯のほか、能登ではよくその声を耳にする。

生態

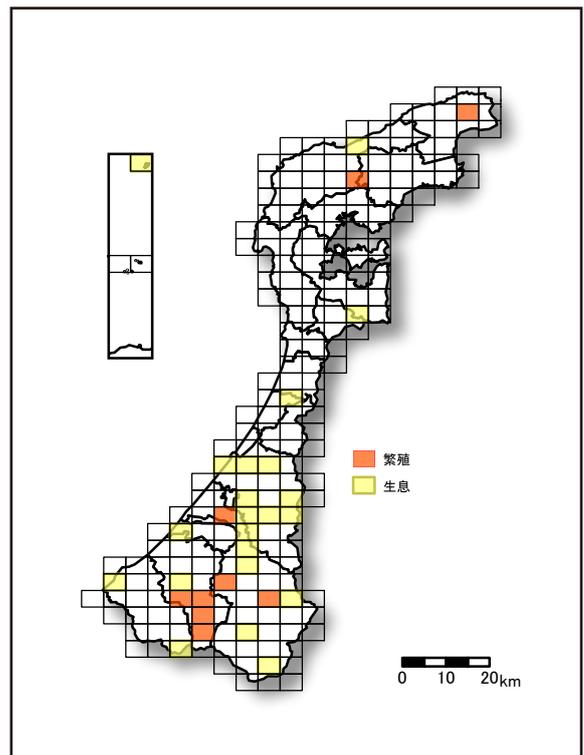
森林内の湿地や沢、溪流などでカニ、カエル、小魚、大型昆虫などを捕る。県内では5月中旬頃渡来、6～8月が繁殖期。主に朽ち木に穴をうがって営巣するが、スズメバチの古巣を利用して繁殖した例もある。

生息地の条件

よく発達した森林、餌動物の豊富な溪流。

生存の危機

森林の伐採。特に奥能登での森林伐採の影響が心配される。(A)



県内の分布